

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成24年3月22日 (2012.3.22)

【公開番号】特開2010-262330(P2010-262330A)

【公開日】平成22年11月18日 (2010.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-046

【出願番号】特願2009-110294(P2009-110294)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/247 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/048 6 5 5 A

H 0 4 M 1/00 R

G 0 6 F 3/048 6 2 0

H 0 4 M 1/247

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月6日 (2012.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

[ 送受信システムの構成例 ]

図 1 は、本発明を適用した送受信システムの一実施の形態の構成例を示している。図 1 の送受信システムは、携帯端末装置 1 1 - 1 および 1 1 - 2 から構成される。携帯端末装置 1 1 - 1 および 1 1 - 2 は、例えば、携帯電話機や PDA (Personal Digital Assistant) 等として構成され、有線または無線で、互いに通信可能に接続されることで、それぞれの間でデータの送受信を行う。ここで、以降においては、携帯端末装置 1 1 - 1 および 1 1 - 2 について、特に区別する必要がない場合は、単に、携帯端末装置 1 1 と称する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 1】

一方、ステップ S 4 4 において、携帯端末装置 1 1 - 1 から送信されてくる送信元保持情報を受信し、送信元の外縁部でアイコン D が保持されていると判定された場合、通信相手操作検知部 5 5 - 2 は、送信元保持情報を、操作判定部 5 6 - 2 を介して表示制御部 5 3 - 2 に供給し、処理は、ステップ S 4 5 に進む。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 2】

ステップ S 4 5 において、携帯端末装置 1 1 - 2 の表示制御部 5 3 - 2 は、操作判定部

5 6 - 2からの送信元保持情報に基づいて、表示部 3 1 - 2 の外縁部にアイコン D の一部を表示させる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 1】

すなわち、ステップ S 5 0 の後、ステップ S 5 1 において、受信制御部 5 4 b - 2 は、受信部 3 2 b - 2 に、携帯端末装置 1 1 - 1 からのデータ受信を開始させる。このとき、操作判定部 5 6 - 2 は、操作検出部 5 1 - 2 からの情報と、通信相手操作検知部 5 5 - 2 からの情報とに基づいて、携帯端末装置 1 1 - 1 に表示されているアイコン D<sub>1</sub>がユーザ 1 2 - 1 によって保持され、携帯端末装置 1 1 - 2 に表示されているアイコン D<sub>2</sub>がユーザ 1 2 - 2 によって保持されている状態から、ユーザ 1 2 - 1 によってアイコン D<sub>1</sub>が開放され、ユーザ 1 2 - 2 によってアイコン D<sub>2</sub>がドラッグされ、アイコン D 全体が表示部 3 1 - 2 上に表示されたと判定すると、記録制御部 5 2 - 2 に、記録部 3 4 - 2 へのアイコン D に対応するデータの記録を指示する情報を供給する。記録制御部 5 2 - 2 は、操作判定部 5 6 - 2 からの情報に基づいて、受信部 3 2 b - 2 に受信され、受信制御部 5 4 b - 2 から供給されてくる、携帯端末装置 1 1 - 1 からのアイコン D に対応するデータを、記録部 3 4 - 2 に記録させる。